

第 2 回 宇都宮市河内自治会議

日 時：平成24年5月30日（水）

午後2時00分～

場 所：河内地域自治センター

第1・2会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

（1）合併市町村基本計画の執行状況について

①執行状況への意見について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】

（2）地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ：「教育・文化，健全育成」）について

①目標の設定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2・3】

3 その他

（1）次回の開催日程について

（2）その他

4 閉会

「合併市町村基本計画の執行状況について」の意見票 集計一覧表

事業名	意見
1(1)道路新設改良事業	<p>・20042号線は、白沢街道迄の通学安全のため、一日も早い完成を望みたい。</p> <p>・20354号線は、合意事項とはいえ、有効性が低いと考える。又、道路が新設されると道路周辺の宅地化が進む懸念が大きいいため、計画を白紙に戻すことも良いのではと考える。</p> <p>・現在着手中の路線について、計画通りに進めるべきである。</p> <p>・特に20042号線については、通学使用路でもあるので早期に整備を完了させる必要がある。</p> <p>・本事業は、厳しい財政事情の中にあっても、計画的に推進されており、既に23年度までに3路線が完了とされていますが、完了された路線の成果の検証を含めて残り5路線についても地域性を十分に検討されて投資対効果の有効性を図る必要があります。</p> <p>・市道20299号線は、平成22年度に完了とされましたが、本事業は国道4号線寄りの一部分のみの改良計画であり、道路灯は未設置のまま終了しています。岡本駅寄りの部分は未計画のまま、中途半端な施策で終了しています。この路線の受益は誰に向いているのか理解できません。引き続いて延伸の追加工事を再検討する必要があります。(図-1 参照)</p> <p>・また、市道20345号線については、現在も調査レベルであり、優先順位も最低であることのほか、当該路線が生活道路・通学道路・将来の交通流動対策等としての価値は疑問です。事業計画のメリットを再検討することを求めます。</p> <p>・更には、この8路線以外にも道路改良が早急に要望される路線があります。例えば、釜井台中央通りから御幸が原通りに通じる市道は計画から漏れていますので引き続き本事業の継続として別途に新規立案する必要があります。(図-2参照)</p> <p>・更には、県道157号線 下岡本・上戸祭線のように未改良路線として県へ申請を要するものもあります。</p> <p>・これらの事案については、将来の交通政策として現状で用地買収が見込める余地を捉えて、道路整備で臍を噛むことのないよう早急に取組まれることを切望します。</p> <p>i 「答申内容」の欄の5行目に「……必要性を十分に検討する……」 → この件は事前に検討すべきことであり、「答申内容」に問うべきではないと思うが如何か。</p> <p>ii 「目標値設定の考え方」の欄の5行目に「……地域性……」とあるが、具体的に書くのが分かり易い文書ではないか(例えば、温度か、歴史か、地質差か、県道からの遠近か等)。</p> <p>・市道20042号線は、通学路でもあり又、岡本ー白沢ー田原を継ぐ大切な道路である。歩行者や自転車等の安全性に十分配慮して、予定どおり、進行されることが必要です。</p>



図-1 中途半端で終了とされた20299号線



図-2 釜井台中央通り～御幸が原通りへの狭隘区間

事業名	意見
1(2) 公共下水道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な住環境と豊かな自然環境のためにも整備を急ぐ必要があるが、対象地域が広大なことと住宅集中地域間に距離があることなど、問題点は多いと思われるが、何しろ地域としての整備率が低すぎる。継続的に予算をより投入して整備を進めるべきである。 ・ また、同時に、接続率を高めるための広報・啓発活動も必要である。 ・ 本事業は、河内地区基本方針の具体的な方策の一つであり、安全・安心・アメニティを目指し発展する町づくりに伴う生活基盤整備として、正に将来を見据えたものであります。本事業は、合併後の目標値に対して約70%の進捗率を示していますが、旧市の普及率に比較しても遠く遅れており、快適な住環境の維持向上と河川の水質保全上の効果を図る上で、今後も計画通りに推進されることが必要です。 ・ 公共下水道は、地域住民の生活環境の向上であり、この事業の進行にあたっては、変更された認可区域を優先として、順次計画どおり進行されることが望ましいです。
1(3) 地域自治拠点整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の老朽化更新、行政業務の効率化、市民の利便性の面から、早期に具体化することが必要と思う。統合した後の自治センターの活用方法も、地域発展の核となるような構想を持ちたい。 ・ 自治センターについては、生涯学習センターとの一体的整備が望ましいが、位置、面積、規模など検討すべき問題点は多いと思われる。十分な検討が必要である。 ・ また、整備の内容に災害時の対応拠点としての機能、地域文化財の案内拠点としての機能を加えるべきである。 ・ 両施設の整備事業については、施設の集中化、老朽耐震化、市民の利便性向上及び有形・無形の地域資産の有効活用化等の利点を踏まえて具体的な取り組みが求められます。 ・ 昨年度までの検討経緯を踏襲し、更に広聴を図って、具体的な整備計画を煮詰めていくことが必要です。 <p>[検討すべき主な事項例]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自治センターと生涯学習センターを集中集約し、設備面・環境面・交通アクセス面等を総合して有機的に整備する。 2) そこには、河内の歴史・文化・産業・環境資料館を新設する。 3) 設備には、雨水活用を含むエコロジー、バリアフリーを導入する。 4) 生涯学習センターに隣接する体育館は、室内体育館として場違いの建物となっている。昨年の震災で使用不可となったものの修復されて再使用されているが、これを撤去し、トレーニングルームと併せて、総合運動公園内に移転する。(図-3参照) 5) 現自治センターの跡地は、白澤宿回遊の拠点とし、駐車場・休み所・地場物産販売所等に整備する。等々 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>図-3 生涯学習センターに隣接する体育館</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行政機関の機能の整備を図ると同時に、生涯学習センターとの一体的整備がなされ、地域住民の利便性や、地域の活性化を図るものであり計画に添って推進することが必要と思われます。
1(4) 小・中学校校舎整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震化についての整備事業であるようだが、今後も老朽化についても整備を進めるべきである。 ・ また、体育館整備事業は完了したが、震災時に、避難所として使用できない被害が出た例もあるようなので、体育館本体だけでなく、施設・外壁など付帯部分の整備も進めてほしい。

事業名	意見
1(4)小・中学校校舎整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の耐震化については、耐震2次診断の結果を反映して、平成27年度で完了する計画が確立されており、計画通りに進捗されることが期待されます。 ・また、公共施設である各校舎は、大規模地震発生時等の学童・生徒の安全確保ばかりでなく地域住民の非常時の避難所としての機能も兼ね備えられるよう別途設備の拡充整備を図ることも必要です。 <p>i 「実施に向けた考え方」の1行目に「……バリアフリー化……」と有るが、何をバリアフリー化するのかを示す必要がある。多数有る場合には、代表的な二、三例を挙げる必要がある。</p> <p>ii 同じ「実施に向けた考え方」で2行目に「……耐震性……」と有るが、「耐久震度いくつ」と具体的数字を示す必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の生徒や、地域住民の避難場所として安全確保を図ることは当然であり、計画どおり平成27年度までに残る3校の校舎の耐震化を実施する必要があります。
1(5)小・中学校プール整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による被害を受けた所もあるようだが、整備事業とも併せて計画通りに進めてほしい。 ・本事業は、合併に伴う主要事業という施策面よりも、プールの維持・管理面からの教育上の必要経費の範疇のもので修繕費的要素のものと思われる。 ・今後は、プールの整備を拡充するための基本的な施策としての計画を構築して安全面、衛生面を含めたプール整備を進める必要があります。 ・例えば、岡本西小学校のプールのトイレの改修やプールへ行くための公道の横断を回避するために校庭とプールを結ぶ跨道橋の設置など改善すべき事案が残留しています。 <p>「●目標値および目標値設定の考え方」の二欄が空欄になっている。この点は、おかしくないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度で田原小学校が工事完了し、以後プールの整備については、必要時に応じ、対応することとなる。
1(6)中央公民館改修整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化更新、行政業務の効率化、市民の利便性の面から、早期に具体化することが必要と思う。統合した後の自治センターの活用方法も、地域発展の核となるような構想を持ちたい。 ・自治センターについては、生涯学習センターとの一体的整備が望ましいが、位置、面積、規模など検討すべき問題点は多いと思われる。十分な検討が必要である。 ・また、整備の内容に災害時の対応拠点としての機能、地域文化財の案内拠点としての機能を加えるべきである。 <ul style="list-style-type: none"> ・両施設の整備事業については、施設の集中化、老朽耐震化、市民の利便性向上及び有形・無形の地域資産の有効活用化等の利点を踏まえて具体的な取り組みが求められます。 ・昨年度までの検討経緯を踏襲し、更に広聴を図って、具体的な整備計画を煮詰めていくことが必要です。 <p>[検討すべき主な事項例]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自治センターと生涯学習センターを集中集約し、設備面・環境面・交通アクセス面等を総合して有機的に整備する。 2) そこには、河内の歴史・文化・産業・環境資料館を新設する。 3) 設備には、雨水活用を含むエコロジー、バリアフリーを導入する。 4) 生涯学習センターに隣接する体育館は、室内体育館として場違いの建物となっている。昨年の震災で使用不可となったものの修復されて再使用されているが、これを撤去し、トレーニングルームと併せて、総合運動公園内に移転する。(図-3参照) 5) 現自治センターの跡地は、白澤宿回遊の拠点とし、駐車場・休み所・地場物産販売所等に整備する。等々

事業名	意見
1(6)中央公民館改修整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 河内生涯学習センターの機能の整備を図ると共に自治センターとの一体化を推行することは、地域住民にとっての利便性や情報の伝達、住民の活動に役立つものであることから、地域住民の意見をふまえ計画的に進めるべきと思います。 自治センターとの一体化を図るためには、両方の機能を発揮し利用しやすくするために、地域住民の意見が反映されますよう、十分な話し合いの場をつくっていただきたいと思います。 本質的な問題ではないが、「中央公民館」という名称は前時代的な印象がする。 一例として、「河内悠々市民プラザ」等に変えれば、響きが良くなり、名称変更工事だけの安価な経費で、「大きい心理的効果」が生まれると期待される。
1(7)岡本駅西土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> 岡本駅西土地区画整理事業、岡本駅前周辺整備事業の両事業セットである。早期の完成を望む。 既に区画整理事業外の周辺土地開発が無軌道に進んでいる。将来を見据えた開発となるよう、青写真を示し、無駄な区画整理を防ぐ対策を進めることが最も重要と考える。 国有地の東病院敷地の有効活用策を市として立案し、地域の活性化につながる再開発を望みたい。 長期的な事業なので、計画的に進めてほしいが、仮換地や移転など時間のかかる問題があるとしても、整備途中で連結不明・回り道等、駅周辺の利用に不便を感じている。主要道路だけでも早期に整備してほしい。 本事業は、平成35年度までの大規模で長期にわたる工事であり、既に昨年度までに計画事業費の40.5%が投入され、着実に推進されています。しかし、工事エリアが広大で現地を通っても将来像が掴めない状況です。 当整理事業については、道路の改修計画はじめ近隣公園、街区公園、駐車場、駐輪場、街並み景観等工事計画の説明会や市民の意見収集を行うことが必要です。 区画整理の現況では、工事でルート変更された仮道路にはどの方面から来ても案内標識が判り易く掲示されましたがまだ不案内のものもあるほか、ここには整備事業の施工期間の明示がなされていません。 現在、区画整理事業の工事概要説明看板は、ふれあい通りに1か所だけに掲げられていますが、メインの道路には設置されていません。 i 本事業に関して、昨年度に要望した事柄(市民への周知のための掲示)は実施済か、未実施か確認したい。 ii 「実施に向けた考え方」の3行目に「……都市計画マスタープラン……」と有るが、誰が、何の目的で定めたという注釈を付けて欲しい。 土地区画整理事業は、精力的な取組みと、地域住民の理解のもと事業が順調に進められていると思います。 今後も計画に添って推進されると思います。
1(8)岡本駅前周辺整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 岡本駅西土地区画整理事業、岡本駅前周辺整備事業の両事業セットである。早期の完成を望む。 既に区画整理事業外の周辺土地開発が無軌道に進んでいる。将来を見据えた開発となるよう、青写真を示し、無駄な区画整理を防ぐ対策を進めることが最も重要と考える。 国有地の東病院敷地の有効活用策を市として立案し、地域の活性化につながる再開発を望みたい。



事業名	意見
1(8)岡本駅前周辺整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いよいよ東西自由通路・橋上駅舎整備の基本設計・実施設計ということで、予定通りに進めてほしい。 ・駅東口広場については、現在のは過渡的状態なのだろうか、非常に使い難い。早期の整備を望みたい。 ・岡本駅周辺は、都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点への位置づけがなされているものです。 ・現在、駅西土地区画整理事業、駅関連施設の検討、JR東日本との協議のレベルまで進展し、市議に於いても鋭意検討されています。 ・本年度は、JR岡本駅関連施設基本設計、岡本駅周辺地域整備基本計画策定調査と相まって更に地域住民や利用者の意見を収集して具体的なプラン作りを進める必要があります。 ・岡本駅は、河内地区の顔であり、駅を中心とした開発は西口開発と併せて整備され地域住民と一体となり進められていると思います。
1(9)農村公園等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・二カ所とも有効活用するには難のある場所である。公園としても、活用があまり見込めそうにない。この計画は白紙に戻し、周辺の農業者に農地として活用してもらう方が、維持費もかからず土地の有効利用になると考える。 ・以前に整備された公園が有効に利用されている例はあるようだが、今後予定されている計画には周辺地域を見ても有用性に疑問がある。 ・地元ともよく協議して、検討してほしい。 ・河内東部土地改良区内の農村公園は、条件に恵まれとは言え、それぞれ行政・地域住民との話し合い、第三者機関の指導等によるワークショップを重ね時間を要している。 ・いくつかの農村公園あるいはそれに伴う研修室や加工施設等も含めて、ワークショップの中で取りあげられたものは、地域の環境の見直しから地域の人との人材等を皆で話し合い、地図に落とし一般の資料にまとめられています。(住んでいる人達にも縛られないいい点や景観、歴史的なものまで発見できることがあります。) ・本事業について、昨年度は地元自治会と下田原南部土地改良区との意見交換会が開催されており、本年度は継続的に整備方を具現化することが必要です。 ・既設の白沢公園、白沢河原もみじ公園、東下ヶ橋白馬公園、西下ヶ橋えのき公園を例にして、子供からお年寄りのそれぞれのニーズで憩える場所づくりと公園づくりを目指した検討が必要です。 ・過去、河内町の子供達の率直な意見として「森や林の緑の中で遊びたい、皆で遊べる公園が欲しい、木登り・川遊びがしたい」等と訴えています。 ・下田原南部地区にあっては、山田川の清流がありますからこれを農村公園と結び付けて、一部を安全施策を施して川遊びの資源にすることも有望と考えられます。 ・中央公民館改修整備事業と同様だが、本事業の「農村公園」という名称は前時代的な印象がする。 ・「ふれあいファームサイト下田原南」「里山ファームパーク下田原南」といった名称にすることで、効果的な印象を産む効果が有ると思う。是非とも、一考を御願います。 ・地区内の公民館(集会所)等との関連性も考慮しながら当該住民との意見集約をもって進められればよいかと思えます。



事業名	意見
1(10)農道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全市域を計画的に今後も順次整備ということなので、予定通り進めてほしい。 ・近年、農業を取り巻く条件は厳しいものがあります。それでも、旧河内町時代から行政の強力な後おしの力で農村整備は実施されてきました。河内町時代から学校施設教育環境への熱意等もすばらしいものでした。 <ul style="list-style-type: none"> ・旧町内農業農村整備は進んでおり、この農道整備も残された短い距離のみと思われます。 ・生産性向上の為に、ご尽力いただいていることに感謝いたしております。 ・本事業の予算面は、平成21年度対前年41.9%、平成22年度対前年27.7%、平成23年度対前年155.5%、本年度は前年91.8%の6,100千円と年度ごとの変動はありますが、許される予算内で継続的に整備が推進されております。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後も環境改善としての整備事業の推進が望まれます。 ・農業経営の合理化の一環である道路が計画的に整備されることは、望ましいことと思います。
2(1)小・中学校体育館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、予想される大規模地震に対して正しく的確を得た施策の成果として、今回の東日本大震災の震度6強の烈震にも耐えました。 ・本事業は、平成22年度の2学校で計画は完了しました。しかし、公共施設である体育館設備は、大規模地震発生時等の学童・生徒の安全確保ばかりでなく地域住民の非常時の避難所としての機能も兼ね備えられるよう、継続事業として検討し、別途設備の拡充整備を図ることが必要です。 ・小・中学校の体育館の耐震工事は平成22年で完了し生徒や、地域住民の安全化が図られる。
2(2)総合運動公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は計画通りに進捗して平成22年度に終了し同時に河内総合運動公園として全体が供用開始されました。 ・しかし、総合運動公園としては、未だに不十分な施設と環境であり、今後とも継続した拡充と整備が必要です。 ・昨年の震災で生涯学習センターに隣接している体育館が被災し、トレーニングルームとも併せて長期間の使用不能に陥ったことも新たな課題として捉えなければなりません。 <p>継続して検討すべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 震災後 現在も使用中止の室内プール建物の新規活用策を策定する。(図-4 参照) 2) 平成23年度に多目的運動場にトイレが増設されたが他に不備はないか検討する。 3) 植樹が乏しい。公園外周をウォーキングする者への木陰ロードとベンチを設ける。(図-5参照) 4) 将来的に、白髭神社経由で白澤宿ウォッチングと連携が図れるようにする。 5) 既設の生涯学習センターに隣接している体育館をスクラップし当総合運動公園に耐震設計でビルドする。 6) 併せて、既設の狭くて予約順番待ちのトレーニングルームを拡充新設する。 <p>等々</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="1070 1198 1474 1500" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1070 1534 1474 1579" data-label="Caption"> <p>図-4 室内プールの使用中止の掲示</p> </div> <div data-bbox="1070 1615 1474 1892" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1038 1904 1490 1937" data-label="Caption"> <p>図-5 ウォーキングコースの環境の未整備</p> </div> </div>

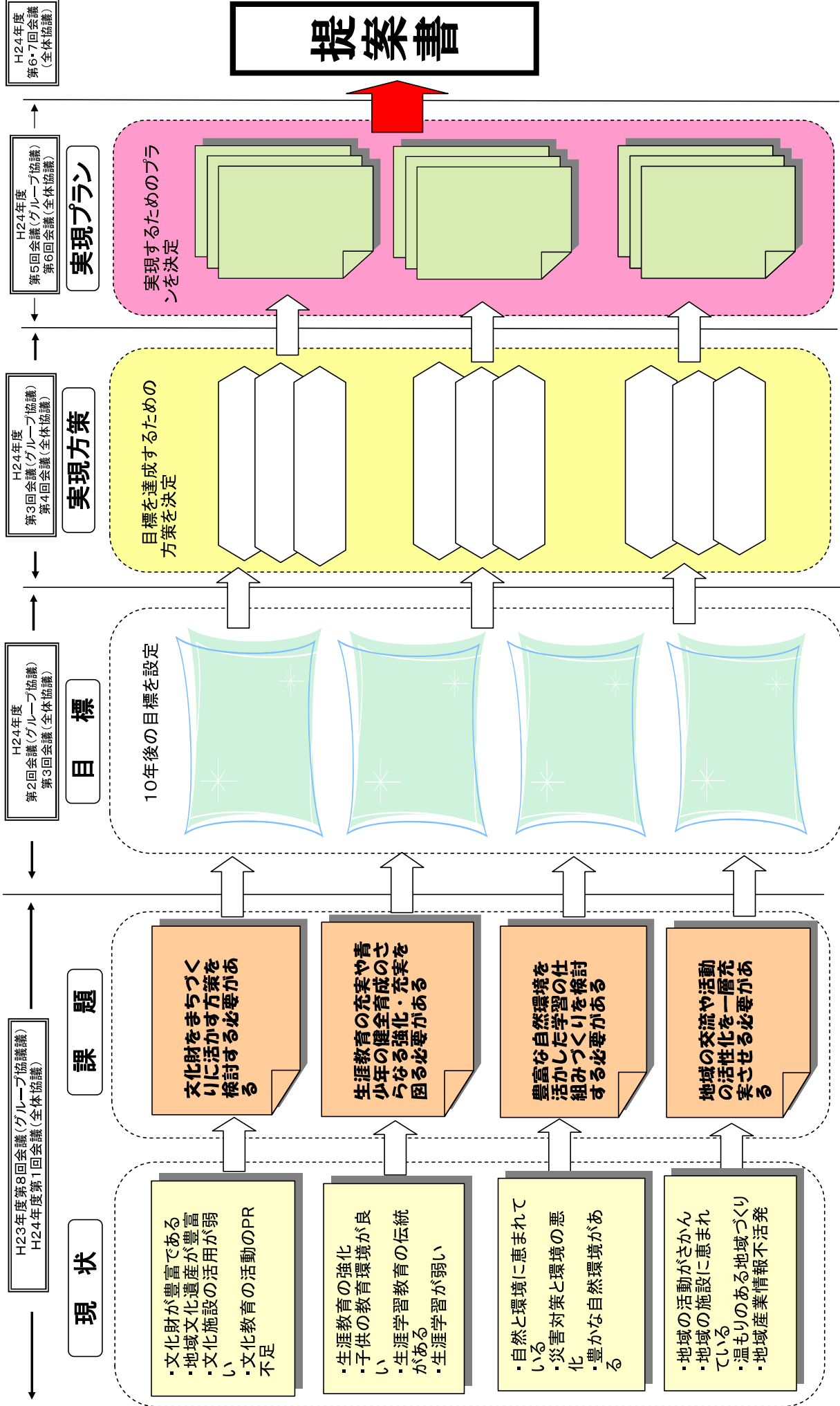
事業名	意見
2(2)総合運動公園整備事業	<p>・本整備事業は完了しており、削除して良いのではないかと。掲載するのならば、その理由を加えて欲しい。</p> <p>・競技場とは別に住民が自由に遊び楽しむ、自由に運動し、親しめる広場として活用できたらよいと思います。</p>
その他	<p>・執行状況については、各委員の提案等、相互に意見交換をして推進したいと思えます。</p> <p>・今回、参考意見として、課題4『地域の交流や活動の活性化を一層充実させる必要がある』について、現在、社協で取り組んでいる状況、2点についてお知らせします。</p> <p>【ふれあい・いきいきサロン事業の実施】</p> <p>・地域内の高齢者や障がい者、子どもたちが気軽に集い、ふれあいや、ささい合いを通じて仲間づくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図り、安心して暮らし続けることが出来る地域社会を作ることを目的に、『自治会等小地域を基本として、公民館、地域の福祉施設を利用し、福祉協力員連絡会・自治会や民児協・地域包括支援センター等地域の関係機関との協力を得ながら実施する。』現在、詳細について検討をしております。</p> <p>【安心・安全情報キットの事業】</p> <p>・在宅の高齢者や障がい者等に対し、緊急時に必要となる本人の情報等が速やかに確認できる「キット」を配布する計画です。『対象者は、65歳以上のひとり暮らし高齢者、65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯、障がい者等』平成24年度から5年計画で全39地区での実施を想定しております。地区社協でも、平成20年度から、3中学校区に、福祉協力員連絡会支部を設立し、民児協等各関係機関との連携を図り、今年度からの実施に向け準備にあたっております。</p> <p>※計画執行状況ではありませんが、先に施設からの「所在不明者」の発生に係り、各機関の方々に多大なご苦勞をお掛けした事例がありましたが、地域内の見回り等地区社協では、これからも福祉でのまちづくりに推進し、貢献したいと努力いたしております。</p> <p>○素人にも分かり易い答申を</p> <p>答申の評価を求められている我々自治委員は、一部の方以外は素人である場合が多いので、答申案は素人にでも分かる配慮が求められる。例えば、専門用語には注釈を付けて欲しい。それにより、分かり易い答申となる。即ち、答申案をもっとかみ砕く必要があるのではないかと。その結果、特に下水や道路の土木・学校建築の分野の事業等で、素人にしかできない提案が産み出され、それが税金の有効利用実現に結びつく可能性がある。</p> <p>その意味で、作家である井上ひさし氏の次の言葉、「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く」は示唆に富んでいる。</p> <p>○きらりと光る、特色有る答申が望まれる</p> <p>昨年度の答申完成慰勞の懇親会で「目立たない、出力がない町はダメ」（佐藤市長挨拶、11-8-1懇親会）との印象的な話があった。これは逆に言うと、「きらりと光る、特色有る提案は採用したい」ということになる。</p> <p>本年度の答申案を拝見すると、長年の苦心と検討の跡が偲ばれ完成度は高い印象をうけた。だが、答申の文は言語明瞭にして意味不明な部分も少なくない。我々自治委員は事務局をサポートして郷土の発展に尽力したい。そこで事務局に望むのは、「守り」でなく「攻め」の姿勢で自治委員の“良い答申作り”を支えて頂きたい点である。そして、最後にはきらりと光る、特色有る答申ができることを期待する。</p> <p>○昨年度の答申審議時の要望は実施されたか</p> <p>昨年度の答申の審議の中で、疑問を始めとして多くの「意見や要望」が出た。その中でも、「要望」が実施されたかどうかを確認したい。</p> <p>○「合併市町村基本計画の執行状況」の意見を纏めるのは難しかった</p> <p>意見を纏めるに当たり、「①提案者＋②提案理由・目的＋③期待される効果」を知る必要がある。戴いた資料では、①は皆無で、②と③は簡単に述べられたに過ぎなかった。そのため、意見を纏めるのに難儀した(①の公表は差し支えない範囲で、すべきかと思う)。</p>

事業名	意見
その他	・毎回、次回の日程が前もってわからないので、早めに教えていただければ、予定を組むのに助かるのですが、よろしくお願いいたします。

提案書作成のイメージ

【個別テーマ】教育・文化、健全育成

資料 2



協議の進め方について（10年後の目標設定）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする）

《グループ協議》

- ・グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・書記（1～3名）→結果を模造紙や提出用紙等に記載
- ・タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

2 10年後の目標設定について

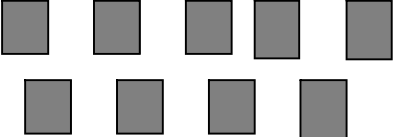
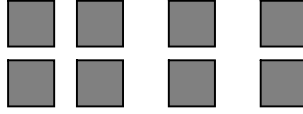
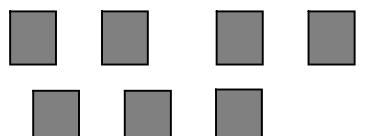
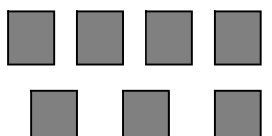
《グループ協議》

(1) 目標を抽出〔60分〕

※目標を抽出する際には、
 前回決定した4つの課題を基に、抽出してください。
【例】課題：観光を活性化する必要がある。

- ①課題に基づき10年後の理想とする姿を予想しながら、目標を導き出し、付箋に記載する。〔30分〕
- ②付箋を模造紙記載された課題ごとに貼り、目標を検討する。〔20分〕
- ③課題ごとの目標を、模造紙と資料（A）に記載する。〔10分〕

【例】テーマ：産業・経済 ※裏面の事例を参考としてください。

課題 ○○○○○	課題 ○○○○○
【目標】	【目標】
	
課題 ○○○○○	課題 ○○○○○
【目標】	【目標】
	

<全体協議>

(2) 目標の整理〔15分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各3分以内
- ②質疑応答。
- ③各グループから発表された目標について協議し、整理を図る。

..... 【次回会議で決定】

<全体協議>

(3) 目標を設定する

- ①目標（案）について全体で協議し、目標を設定する。

【事例】

テーマ：産業・経済

前回の会議で決定した
課題が入っています。

課題	観光を活性化する必要がある		
【目標】 魅力あふれた誇れるまちづくり			
ウォーキングが盛んになり、観光が活性化される	地域住民と企業が手を組んで、観光が活性化される	核となる観光の場所ができる	地区内の観光が活性化される
地区内の観光が、広く知られるようになる	自然を活かした観光が盛んになり、観光客が増える	白沢地区に多くの観光客が来る	白沢宿が有名になる

グループで協議し、
目標を設定して、
ここに記載して下さい。

10年後の理想とする姿を予想しながら、目標を付箋に記載して、ここに貼って下さい。

【テーマ】教育・文化，健全育成

A・B・C グループ

課題		⇒	目標
①	文化財をまちづくりに活かす 方策を検討する必要がある	⇒	
②	生涯教育の充実や青少年 の健全育成のさらなる強化・ 充実を図る必要がある	⇒	
③	豊富な自然環境を活かした 学習の仕組みづくりを検討 する必要がある	⇒	
④	地域の交流や活動の活性化を 一層充実させる必要がある	⇒	

答 申 書

平成23年8月5日

宇都宮市河内自治会議

目 次

1	はじめに	1
2	「地域別計画における主要施策事業」について	
①	道路新設改良事業	2
②	公共下水道整備事業	2
③	地域自治拠点整備事業	3
④	小・中学校校舎整備事業	3
⑤	小・中学校体育館整備事業	4
⑥	小・中学校プール整備事業	4
⑦	中央公民館改修整備事業	4
⑧	総合運動公園整備事業	5
⑨	岡本駅西土地区画整理事業	5
⑩	岡本駅前周辺整備事業	5
⑪	農村公園等整備事業	6
⑫	農道整備事業	6
	審議の経緯	7
	河内自治会議委員名簿	8

1 はじめに

平成19年3月の合併から4年が経過しました。その間、河内自治会議は、合併市町村基本計画の執行状況について、毎年、宇都宮市長から諮問を受け、答申を行うとともに、平成21年3月と23年3月には、まちづくりに関する施策の提案を市へ提出するなど、地域住民を代表する組織として、河内地区の発展のためにその役割を果たしてきました。

また、河内地区にも、平成21年1月には、地域の課題に取り組み、地域住民による住み良いまちづくりを推進するために、まちづくり協議会が設立されたところであり、今後、当自治会議との連携・協力のもと、魅力あるまちづくりを進める必要があります。

このような中、合併市町村基本計画の地域別計画における主要施策事業の12事業については、河内総合運動公園整備事業や小・中学校体育館整備事業のように事業が完了したものや、公共下水道整備事業や岡本駅西土地地区画整理事業のように着実に整備が進められているものもあります。しかし、その一方で、地域自治拠点整備事業や中央公民館改修整備事業など、検討中であり、未だ着手されていない事業もあります。

去る3月11日に発生した東日本大震災により、地区内の施設が大きな被害を受け、これらの早期復旧が課題となっており、さらには、近年の経済情勢や震災などにより税収の落ち込みが予想される中、市の財政運営は一層厳しさを増すものと思われませんが、河内地区を「水と緑に囲まれ、やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」として発展させるためには、合併市町村基本計画に掲げた各種事業に着実に取り組み、今後とも、住民の意見を尊重しながら計画的に整備を進める必要があります。

これらの事業の推進と地域住民の積極的なまちづくり活動により、河内地区が輝きを増し、ひいては宇都宮市のさらなる発展に寄与するものと考えております。

2 「地域別計画における主要施策事業」について

① 道路新設改良事業

(執行状況)

	路線名	状況	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業 内容	市道 20216 号線	完了	【平成 20 年度 整備完了】		
	市道 20299 号線	完了	—	改良工事 【整備完了】	
	市道 20042 号線	整備中	用地買収, 物件補償	用地買収, 物件補償, 改良工事	改良工事
	市道 20061 号線	整備中	—	—	用地買収, 物件補償
	市道 20065 号線	整備中	—	—	改良工事, 物件補償
	市道 20227 号線	整備中	—	—	休止
	市道 20271 号線	整備中	—	—	改良工事
	市道 20354 号線	未着手	—	—	—

(意見)

計画されている 8 路線のうち 2 路線の整備が完了し、残り 6 路線のうち 4 路線についても事業が計画的に進められております。

特に、通学路となっている市道 20042 号線については、歩道を設置するなど安全性に配慮した整備が早期に完了することを期待しています。

また、未着手路線につきましては、今後、必要性を十分に検討することを求めます。

なお、合併市町村基本計画に掲げられた上記路線以外の整備が必要な路線については、全市の均衡ある発展の中で十分検討する必要があります。

② 公共下水道整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道汚水管渠築造工事（上田原町外）整備面積 28ha ・特定環境保全公共下水道汚水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積 5ha ・河内水再生センター増設工事 ・奈坪中継ポンプ場建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道汚水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積 5ha ・特定環境保全公共下水道汚水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積 12ha ・河内水再生センター増設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道汚水管渠築造工事（下岡本町外）整備予定面積 4ha ・特定環境保全公共下水道汚水管渠築造工事（中岡本町外）整備予定面積 26ha ・河内水再生センター増設工事

普及率(決算) ※	河内地区 51.4%	河内地区 52.8%	—————
	旧市 86.3%	旧市 86.4%	
	全市 82.9%	全市 83.1%	

※公共下水道と特定環境保全公共下水道を含む普及率

(意見)

公共下水道整備事業は、快適な住環境の維持向上と、河川の水質保全を図るうえで必要不可欠な事業です。

毎年、計画的に整備が進んでおり、普及率も着実に伸びております。

今後とも、計画的な整備を行うとともに、公共下水道に接続可能な地域住民に対する接続に向けての広報が必要です。

③ 地域自治拠点整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	まちづくりと人づくりの一体的執行体制を全市的に構築していく方針を決定	まちづくりと人づくりの一体的執行体制を踏まえ、一体的整備も含めた具体的な組織体制や施設規模・内容等について検討	地域行政機関のあり方や施設規模の考え方についての検討

(意見)

地域自治拠点整備については、まちづくりと人づくりを一体的に進めるとともに、施設や駐車場の効率化を図るため、自治センターと生涯学習センターを一体的に整備することが望ましいと考えます。

施設の機能・規模・位置などを整理するにあたっては、地域住民の利便性の高い施設とする必要がありますので、地域住民の意見を踏まえ、計画を策定する必要があります。

今回の震災により大きな被害を受け、安全性の確保の点からも、早急に、具体的な整備に向けて、取り組む必要があります。

④ 小・中学校校舎整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	岡本小、岡本西小、古里中、田原中(耐震2次診断4校実施)	古里中(耐震補強工事)	岡本西小(耐震補強実施設計)

(意見)

地区内の対象5校のうち2校の耐震補強工事が終了し、残りの3校についても平成27年度までに校舎の耐震化が行われる予定です。今後についても、施設の整備を計画的に進める必要があります。

また、安心して快適な教育の環境づくりのためには、被災した施設等の復旧に取り組む必要があります。

⑤ 小・中学校体育館整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度
事業内容	岡本西小(耐震補強工事) 田原中(2次診断・実施設計)	田原中(耐震補強工事) 【事業完了】

(意見)

体育館整備事業は、平成 22 年度の田原中学校の耐震補強工事をもって完了しました。

なお、体育館などの公共施設は、地域住民の避難所として十分機能するよう、検討していく必要があります。

⑥ 小・中学校プール整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	田原西小プール(塗装)	—	田原小プール(ろ過設備及び給排水改修)

(意見)

衛生面や安全面から、老朽化した施設の整備・改修を進めるとともに、今後、計画的に整備していく必要があります。

⑦ 中央公民館改修整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	生涯学習とまちづくりの一体的な推進体制の整備	まちづくりと人づくりの一体的執行体制を踏まえ、一体的整備も含めた具体的な組織体制や施設規模・内容等について検討	生涯学習センターのあり方や施設規模の考え方についての検討

(意見)

河内生涯学習センター(旧中央公民館)では、地域住民をはじめ市民の生涯学習の場として、また、住民相互の情報交換の場などとして活発な活動が行われております。

同センターの整備に当たっては、自治センターとの一体化を図り、河内地域の特性を生かした地域活動の拠点となるような施設が望ましいと考えます。

そのため、地域住民の意見を踏まえつつ、十分な検討を行い、生涯学習センターとしての機能を発揮した利用し易い、充実した施設となるよう整備計画を早期に策定する必要があります。

⑧ 総合運動公園整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度
事業内容	造園工事（園路整備，バックネット整備，グラウンド整備等） 電気設備工事（放送設備等） 機械設備工事（散水設備） 【事業完了】

※多目的運動広場は，芝の養生を行い平成 22 年 10 月から供用開始

(意見)

総合運動公園整備事業は，平成 21 年度に完了し，平成 22 年 10 月から多目的運動広場の供用が開始されました。

なお，今後とも，憩いの場として，安全性や地域住民のニーズ等にも配慮し，利用しやすい環境づくりに努める必要があります。

⑨ 岡本駅西土地区画整理事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（予定）
事業内容	仮換地指定（4.5 ha） 建物移転（55 棟） 道路築造（1,552m） 整地造成（9,359 m ² ）	仮換地指定（4.0 ha） 建物移転（61 棟） 道路築造（369m） 整地造成（18,969 m ² ）	仮換地指定（5.0 ha） 建物移転（38 棟） 道路築造（865m） 整地造成（17,750 m ² ）
進捗率※	30.7%	35.3%	40.0%

※特別会計事業費（26,000 百万円）に対する進捗率

(意見)

岡本駅西土地区画整理事業については，大規模な長期事業ではありますが，精力的な取り組みにより，事業が順調に進められております。

今後とも，地域住民の意見を取り入れながら，計画的な整備を進めるとともに，事業の案内・説明掲示を増設するなど，事業の目的や効果を市民に明示していく必要があります。

⑩ 岡本駅前周辺整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度（予定）
事業内容	駅関連施設の整備内容の具体化に向けた調査検討 JR 東日本との協議	駅関連施設の整備内容の具体化に向けた JR 東日本との協議	岡本駅関連施設基本設計負担金，岡本駅周辺地域整備基本計画策定調査業務委託など

(意見)

岡本駅前周辺地区は、都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早急な整備計画の策定が必要です。

また、整備計画策定にあたっては、この地域の活性化が図られるよう、地域住民や利用者の意見を取り入れながら、推進されることを望みます。

⑪ 農村公園等整備事業

(執行状況)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
事業内容	—	土地改良区と地元自治会との打合せの実施 地元の要望調査の実施	引き続き、農村公園等のあり方等について、土地改良区や地元自治会との協議を進める

(意見)

農村公園等の整備については、利用方法や管理方法について、地元の自治会と協議を行いながら、その必要性を含め検討することが必要です。

⑫ 農道整備事業

(執行状況)

事業内容	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (予定)
下ヶ橋河原地区	—	1 地区 (175.8m)	—
下田原南部地区	4 地区 (808.5m)	2 地区 (538m)	2 地区 (285m)

(意見)

重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められております。

今後も計画的に整備が推進されることを望みます。

～～ 審議の経緯 ～～

- 平成23年4月26日 平成23年度第1回宇都宮市河内自治会議
・市長から「合併市町村基本計画の執行状況について」
 諮問
・合併市町村基本計画の執行状況について調査審議
- 平成23年5月26日 第2回宇都宮市河内自治会議
・合併市町村基本計画の執行状況について
 （主要事業についての現地視察と協議）
- 平成23年6月28日 第3回宇都宮市河内自治会議
・合併市町村基本計画の執行状況について
 （答申素案について）
- 平成23年8月1日 第4回宇都宮市河内自治会議
・合併市町村基本計画の執行状況について
 （答申案について）

～～ 河内自治会議委員 ～～

会 長	杉	原	弘	修
副会長	川	上	幸	子
委 員	石	渡	重	道
委 員	磯	川	康	男
委 員	伊	藤	昭	博
委 員	太	田	達	彦
委 員	加	藤	幸	雄
委 員	君	島	京	子
委 員	駒	田	静	雄
委 員	櫻	井	基	一 郎
委 員	渋	井	卜	ミ 子
委 員	清	水	惠	美 子
委 員	五	月 女	京	子
委 員	高	久	剛	一 男
委 員	田	村	正	子
委 員	中	西	幸	幸
委 員	中	山	光	諦
委 員	真	壁		子
委 員	松	谷	宣	子
委 員	吉	田	惠	美 子

(※委員名は50音順)